



園だより

11 月 号
2021年11月1日発行
古志ひまわり保育園
TEL 23-1504 FAX23-1505
koshi@h-himawari.net

急に朝晩冷え込むようになり、秋の深まりを感じる頃となりました。11月は空気も澄んで、戸外で身体を動かすのにはよい時期です。散歩にたくさん出かけ、それぞれの年齢や発達に見合った環境を作り、子どもたち自らが、とんだり、はねたり、走ったり、自由に動き回れる場を保障していきたいと思います。

先月の運動会は数日に分けての平日開催となりましたが、たくさんの保護者の皆様に参加いただき、ありがとうございました。保護者の方に見守られながら嬉しそうに運動会に向かう姿を見ていただき、子どもたちの成長を喜び合えたことを職員も大変嬉しく思っています。この運動会でつけた子どもたちの力を、今後の活動につなげていきたいと思います。

子どもの発達と絵

私たちの保育の中で大事にしていることのひとつに「描く」ことがあります。

歩行が確立し、自由に手が使えるようになった頃から絵を描き始めます。はじめは、点々やかすかな横線などが描かれますが、子どもの身体の成長発達とともに、線が強くなり、往復線、ぐるぐると描くようになっていきます。言葉が増え始める2歳頃には丸を描き出し、友だちがたくさんできて楽しくなってくる3歳頃には丸や複数の人間を描き始めます。描いたものを「おかあさん」「○○ちゃん」と意味づけをするようになります。

4歳、5歳となっていくと楽しい生活や経験が絵に出るようになります。認識がそのまま絵に現れ、胴体が出たり、上下が分かることで基底線も出てきます。豊かな環境の中で仲間とあそぶことがとても大切です。

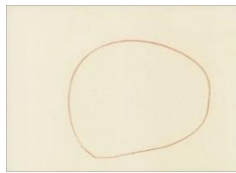
そして年長の頃になると身体と共に指先も器用になり、絵の線も力強く、滑らかさも出てきて絵の表現も緻密になります。楽しかった体験やお話のイメージも膨らませて描いていきます。



1歳6ヶ月



1歳10ヶ月



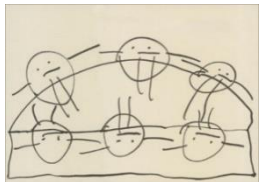
2歳5ヶ月



2歳10ヶ月



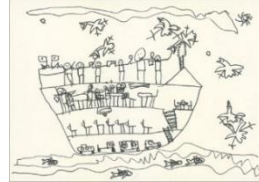
3歳3ヶ月



4歳2ヶ月



4歳7ヶ月



5歳10ヶ月



6歳6ヶ月

子どもたちは絵を描くことが大好きです。絵はまだ文字を持たない幼児の心の表現・語り・伝えであると思います。子どもの話をたくさん聞いてあげること、日々の楽しいあそびや生活があり、自ら表現したくなることで、描くことがより楽しくなっていきます。

ただし、周囲の大人が子どもの描いた絵を評価したり、視覚、聴覚のみへの一方的な刺激を与えるメディア（テレビやゲーム、スマートフォンなど）は、イメージ力の育ちを妨げ、心が縛られて絵を描きたがらない傾向が見受けられます。

子どもたちの豊かな感性や、自由にのびのびと表現する力が育つためにも、自然の中での実体験を大切に、年齢や発達段階に応じたあそびや生活を送っていききたいと思います。

日々の保育の中で描いた絵は家庭にお返しています。たくさんありますが、一枚一枚に子どもたちの成長や思いが詰まっていますので、見ていただきたいと思います。子どもたちのつづきも聞こえてきて楽しいですよ。



<11月>

日	曜日	行	事
1	月	安全点検	
2	火		
3	水	祝日	
4	木	避難訓練（消防署より来園）	
5	金		
6	土	さくら組クラスレク	
7	日		
8	月		
9	火		
10	水	身体測定 さくら組デイキャンプ	
11	木		
12	金		
13	土		
14	日		
15	月	アルミ缶回収の週	
16	火	お弁当の日	
17	水		
18	木	サンマ焼き	
19	金		
20	土	さくら組 親子荒馬作り	
21	日		
22	月	誕生会	
23	火	祝日	
24	水		
25	木		
26	金	合同リズム	
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		

掲示板



①迷子の服、タオルを15日（月）～19日（金）の間、下駄箱の上に置いておきます。心あたりのある方はご確認ください。20日（土）に片付けさせていただきます。

②年末、年始の保育について

12月29日（水）が今年の保育納め（弁当の日）です。

新年は1月5日（水）から保育を始めます。（通常保育）